



2022年12月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量、積込量は2カ月連続増加、取卸量は10カ月ぶりに増加

概要

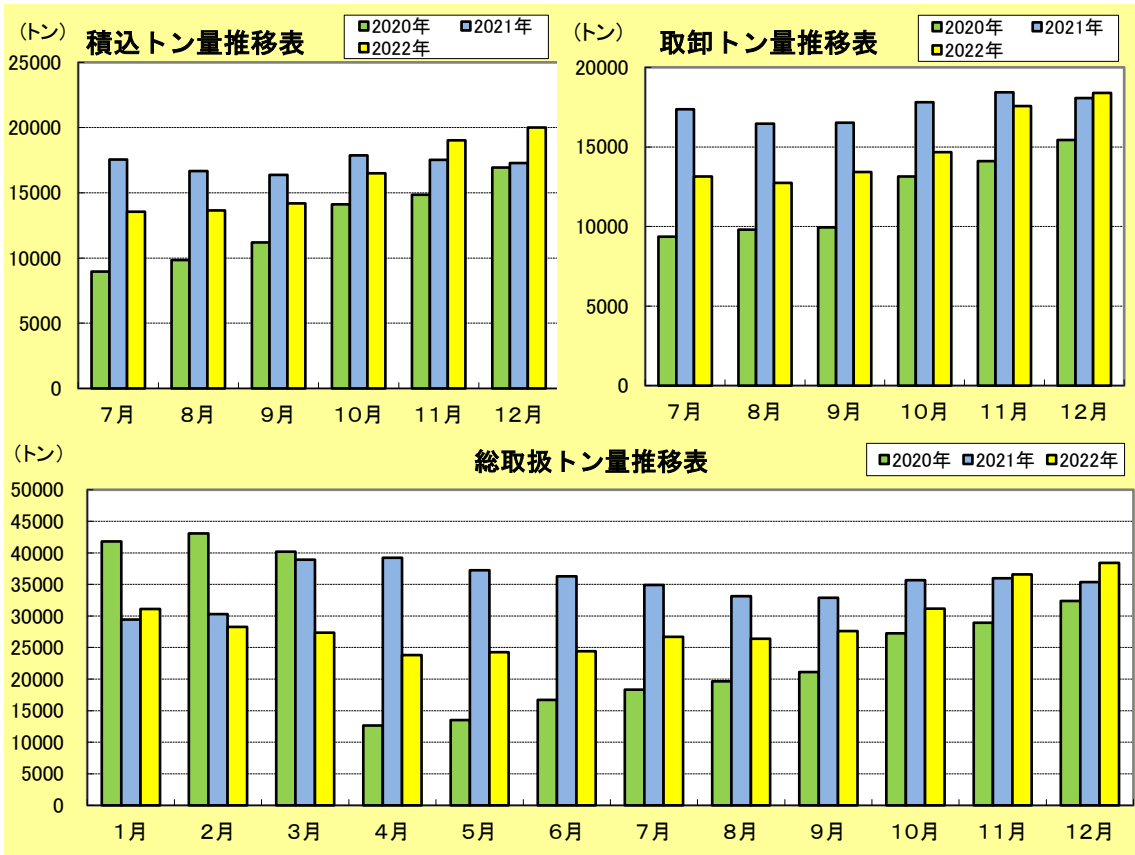
2022年12月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 38,406トン(前年同月比 8.6%増)

積込量 20,005トン(同 15.8%増)

取卸量 18,401トン(同 1.8%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量、積込量は2カ月連続プラス、取卸量は10カ月ぶりにプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,231トン(前年同月比 3.5%減、シェア 12.5%)

その他地域通関 8,626トン(同 1.2%増、同 87.5%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は2カ月ぶりにマイナス、その他地域通関は2カ月連続でプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,238トン(前年同月比 5.4%減、シェア 48.6%)

その他地域通関 5,545トン(同 11.4%減、同 51.4%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、10カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 10,148トン(前年同月比 35.6%増)

取卸量 7,618トン(同 21.3%増)

となり、前年同月比でみると、積込量は3カ月連続でプラス、取卸量は2カ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年12月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 928トン(前年同月比 20.6%減、シェア 17.7%)

ドライ貨物 4,310トン(同 1.4%減、同 82.3%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等19.1%(前年同月比17.9%減)、水産物36.2%(同18.8%減)、果物14.3%(同0.1%増)、植物(切花等)17.9%(同26.1%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年12月			2021年12月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,238	94.6%	100.0%	5,538	124.0%	100.0%
生鮮	928	79.4%	17.7%	1,169	150.3%	21.1%
ドライ	4,310	98.6%	82.3%	4,369	118.5%	78.9%